

# U-Cable type A4

## ユーザーズマニュアル 通信編

### 目次

<b>WindowsXPでインターネットに接続する</b>	
インターネットに接続する .....	1
<b>WindowsMe/98でインターネットに接続する</b>	
ダイヤルアップネットワークの確認 .....	12
ネットワーク構成ファイルをインストールする .....	13
ダイヤルアップネットワークをインストールする .....	17
ダイヤルアップネットワークを登録する .....	20
Packet通信のための設定について .....	26
接続方法 .....	27
<b>Windows2000でインターネットに接続する</b>	
インターネットに接続する .....	29
<b>Macintoshでインターネットに接続する</b>	
インターネットに接続する .....	40
速度が非常に遅いと感じる場合 .....	48
<b>付録</b>	
トラブル対処法 .....	49
<b>リファレンス</b>	
ATコマンドの入力方法 .....	52
ATコマンド設定一覧表 .....	52
リザルトコード一覧表 .....	54

正しく安全にお使いいただくために、ご利用の  
前に必ず取扱説明書をよくお読みください。

# WindowsXPでインターネットに接続する

## インターネットに接続する

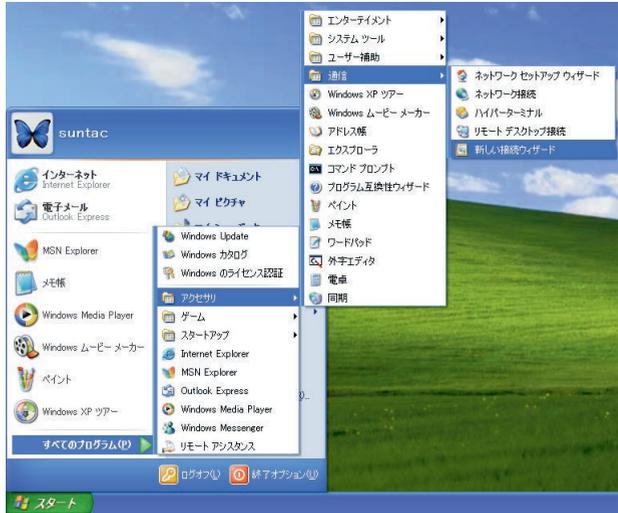
インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIP アドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

## ダイヤルアップ接続の作成

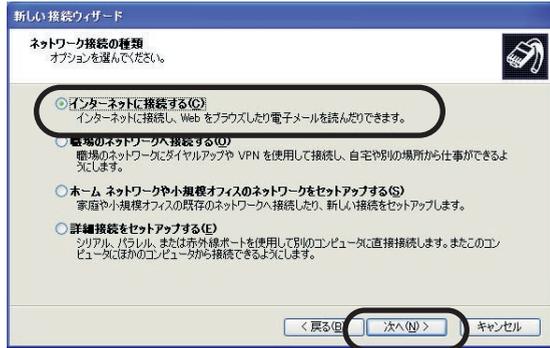
- 1 「スタート」の「すべてのプログラム」の「アクセサリ」の「通信」の「新しい接続ウィザード」をクリックします。



- 2 「新しい接続ウィザードの開始」画面が表示されますので [次へ] ボタンをクリックします。



- 3 「ネットワーク接続の種類」では、「インターネットに接続する」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。

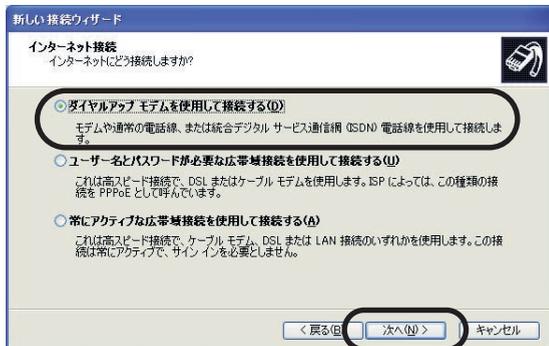


- 4 「準備」では、インターネットの接続設定をどのようにして行うかを選択します。ここでは、手動で設定する方法をご説明しますので「接続を手動でセットアップする」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。



## 5 インターネットへの接続方法を選択します。

電話機を使用して通信する場合、プロバイダのアクセスポイントに電話をかけて通信を行いますので「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」にチェックをして、[次へ] ボタンをクリックします。



## 6 デバイスの選択画面が開かれた場合には「モデム-SUNTAC U-Cable x」をチェックして、「次へ」をクリックしてください。 (表示されない場合もあります。)



- 7 「接続名」では、これから作成する接続設定に名前を付けます。  
「ISP名(A)」の入力欄に接続先プロバイダ名など分かりやすい名前を入力し[次へ]ボタンをクリックします。  
(例では「接続」という名前を入力しました。)

新しい 接続ウィザード

**接続名**  
インターネット接続を提供するサービスの名前は何か?

次のステップに ISP の名前を入力してください。

ISP 名(A)  
接続

このステップでは名前が作成されている接続の名前が表示されます。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

- 8 アクセスポイントの電話番号を入力します。  
電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「- (ハイフン)」を入れずに続けて入力してください。  
Packet通信で接続する場合：9999  
ASYNC通信で接続する場合場合：XXXXXXXXXXXX  
(接続先の電話番号)

入力が完了したら [次へ] ボタンをクリックします。

新しい 接続ウィザード

**ダイヤルする電話番号**  
ISP の電話番号を指定してください。

下に電話番号を入力してください。

電話番号(P)  
xxxxxxxxxxxx

識別番号または市外局番が必要な場合があります。よくわからないときは、電話でその電話番号にダイヤルしてください。モジムの音が聞ける場合はダイヤルしたその番号が正解です。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

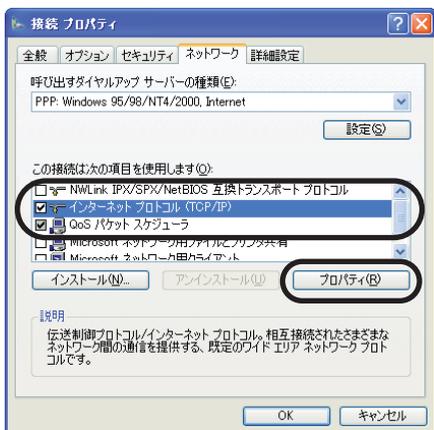
- 9 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。
- (「パスワード」は画面上ではすべて「\*」で表示されます。)
- Packet通信を行う場合は通常データ通信と設定が異なります。詳しくはプロバイダに直接お問い合わせください。
- 各チェックボックスは、必要に応じて設定を変更してください。入力が完了したら [ 次へ ] ボタンをクリックします。

- 10 新しい接続に必要な情報の入力が完了しました。
- 「この接続へのショートカットをデスクトップに追加する」にチェックをつけると、デスクトップ上にショートカットアイコンが作成されます。
- (ショートカットを作りたい場合はチェックをしてください。)
- [ 完了 ] ボタンをクリックします。

- 11 「ダイヤルアップ接続への接続」画面が自動的に開きます。  
[プロパティ] ボタンをクリックします。



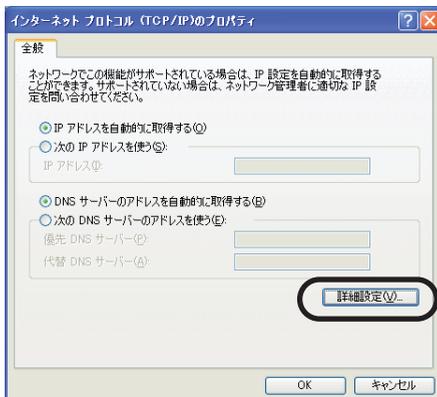
- 12 「ネットワーク」タブをクリックします。  
「この接続は次の項目を使用します」のインターネットプロトコル (TCP/IP) にチェックをつけて、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 13 「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

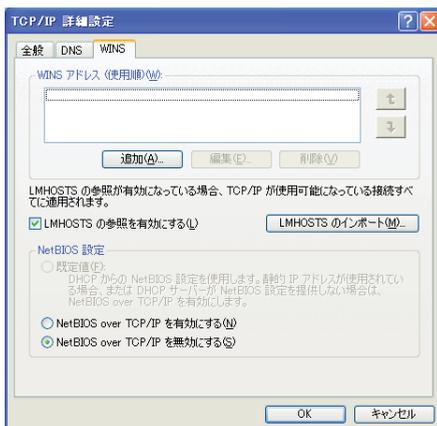
[ 次のDNSサーバーのアドレスを使う ] を選択し、接続先プロバイダのDNSを入力します。プロバイダによって設定が異なりますので、確認して設定してください。

[ 詳細設定 ] ボタンをクリックします。



- 14 TCP/IP詳細設定が開きます。[ WINS ] タブをクリックしてください。この画面で [ WINSアドレス (使用順) ] が設定されていないことを確認し、[ OK ] ボタンをクリックします。

WINSアドレスが設定されている場合は、削除してください。



- 15 [ OK ] ボタンを数回クリックして、接続の画面が表示されたら、設定は完了です。

## 接続方法

- 1 電話機のリモコンでデータ通信設定を確認し、接続しようとするデータ通信モードになっていることを確認します。  
電話機のリモコンでデータ通信モードの詳細な設定方法に関してはお使いの電話機の取扱説明書を参照し、正しく設定してください。
- 2 「スタート」の「接続」をクリックし、先ほど作成した接続設定をクリックします。



- 3 [ダイヤル] ボタンをクリックするとダイヤルを開始します。



プロパティの変更が必要な場合、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、[ OK ] ボタンをクリックしてプロパティを閉じてください。

(一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。)

設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。

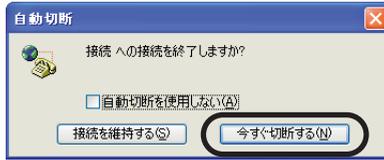
- 4 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



通信速度の表示はパソコンと機器間の速度が表示されています。ただしUSB接続の場合はパソコンと機器間の速度は仮想の速度表示となります。144kbpsパケット通信を行った場合にも115.2kbpsでの接続と表示されますが、実際の通信速度は144kbpsの通信が可能な設計となっています。

## 切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は [ 今すぐ切断する ] ボタンをクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して [ 切断 ] ボタンをクリックして切断することもできます。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

# WindowsMe/98でインターネットに接続する

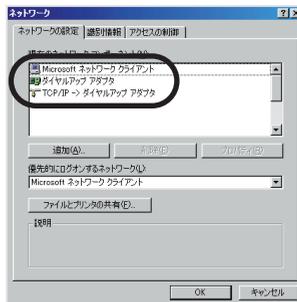
## ダイヤルアップネットワークの確認

WindowsMe/98に必要なソフトがインストールされていることを確認します。  
以下の手順でおこなってください。

- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。
- 2 「コントロールパネル」が開きます。「ネットワーク」をダブルクリックしてください。



- 3 「ネットワーク」設定画面が開きます。「現在のネットワーク構成」で「Microsoft ネットワーククライアント」、「ダイヤルアップアダプタ」、「TCP/IP」がインストールされていることを確認してください。



- 4 すべてインストールされている場合は20ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。インストールされていないファイルがある場合は、この画面から次ページの説明を参照してインストールしてください。

## ネットワーク構成ファイルをインストールする

### Microsoftネットワーククライアントをインストールする

「Microsoftネットワーククライアント」がインストールされている場合は、次ページ「ダイヤルアップアダプタをインストールする」に進んでください。



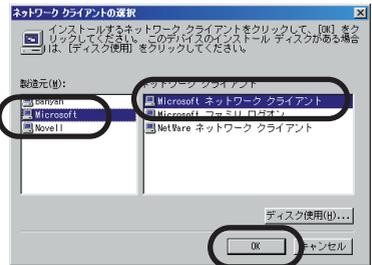
- 1 「ネットワーク」設定画面で [ 追加 ] ボタンをクリックしてください。



- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「クライアント」を選択して [ 追加 ] ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワーククライアントの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「Microsoftネットワーククライアント」を選択して [ OK ] ボタンをクリックしてください。



- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「Microsoftネットワーククライアント」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



## ダイヤルアップアダプタをインストールする

「ダイヤルアップアダプタ」がインストールされている場合は、次ページ「TCP/IPをインストールする」に進んでください。



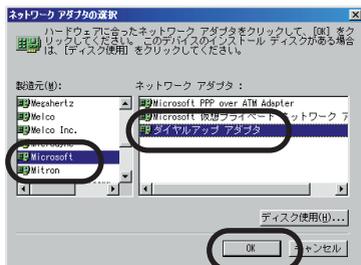
- 1 「ネットワーク」設定画面で [ 追加 ] ボタンをクリックしてください。



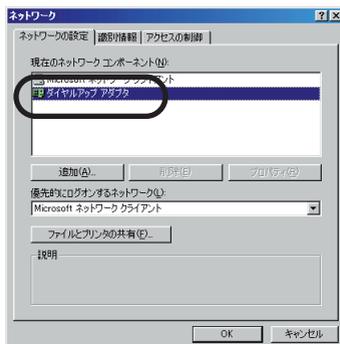
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「アダプタ」を選択して [ 追加 ] ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワークアダプタの選択」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークアダプタ」から「ダイヤルアップアダプタ」を選択して [ OK ] ボタンをクリックしてください。



- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「ダイヤルアップアダプタ」が表示されていることを確認して、次ページへ進んでください。



## TCP/IPをインストールする

「TCP/IP」がインストールされている場合は、次ページ「新しいネットワーク設定を有効にする」に進んでください。



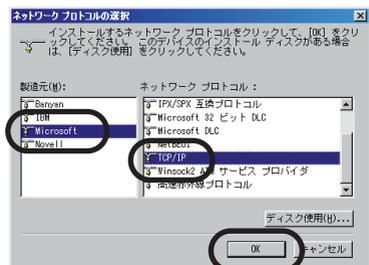
- 1 「ネットワーク」設定画面で [ 追加 ] ボタンをクリックしてください。



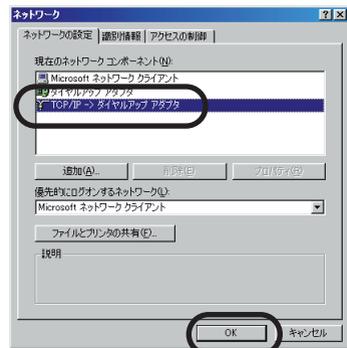
- 2 「ネットワーク構成ファイルの追加」又は「ネットワークコンポーネントの選択」画面が開きます。「プロトコル」を選択して [ 追加 ] ボタンをクリックしてください。



- 3 「ネットワークプロトコル」画面に切り替わります。製造元から「Microsoft」を選択し、「ネットワークプロトコル」から「TCP/IP」を選択して [ OK ] ボタンをクリックしてください。

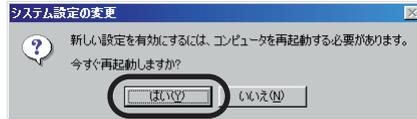


- 4 「ネットワーク」設定画面に戻ります。「現在のネットワーク構成」に「TCP/IP」が表示されていることを確認して、[ OK ] ボタンをクリックしてください。



## 新しいネットワーク設定を有効にする

「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか?」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ [ はい ] ボタンをクリックしてください。



# WindowsMe/98でインターネットに接続する

## ダイヤルアップネットワークをインストールする

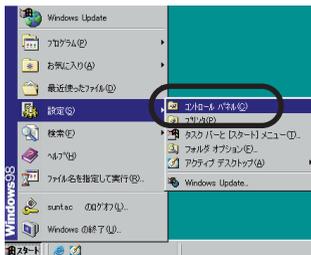
WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」の中に「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンがあることを確認してください。

Windows98の場合は「マイコンピュータ」の中に「ダイヤルアップネットワーク」があることを確認してください。「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンが確認できれば、すでにインストールされている状態です。20ページの「ダイヤルアップネットワークを登録する」に進んでください。

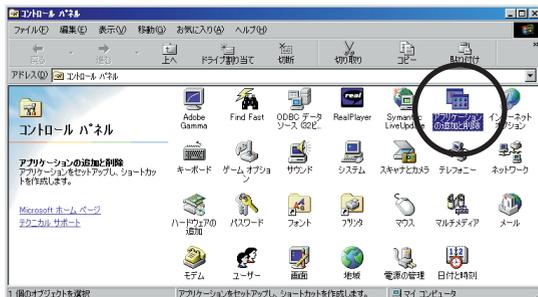


「ダイヤルアップネットワーク」のアイコンが存在しない場合は、以下の手順で「ダイヤルアップネットワーク」のインストールをおこなってください。

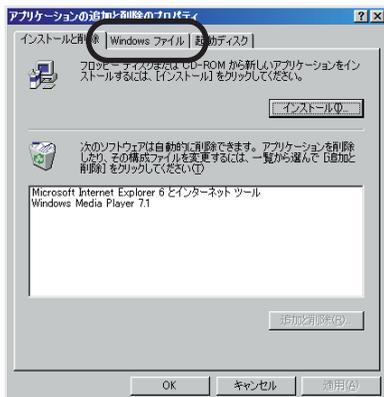
- 1 「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」を選択してください。



- 2 コントロールパネルが開きます。「アプリケーションの追加と削除」のアイコンをダブルクリックしてください。

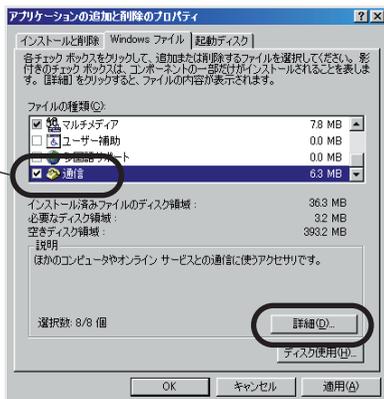


- 3 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」画面が開きます。「Windowsファイル」タブをクリックしてください。



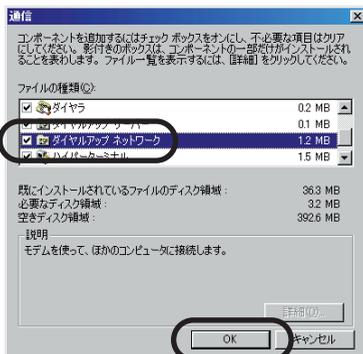
- 4 「Windowsファイル」のページが最前面に出ます。「ファイルの種類」から「通信」にチェックを付けて、[ 詳細 ] ボタンをクリックしてください。

「通信」にすでにチェックが付いている場合は、チェックボックスをクリックしないでください。チェックマークが消されたまま「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了すると、「通信」が削除されます。



- 5 「通信」画面が開きます。「ダイヤルアップネットワーク」にチェックを付けて、[ OK ] ボタンをクリックしてください。

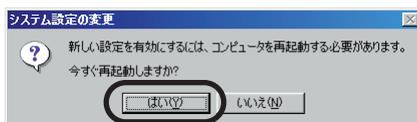
チェックボックスをクリックせず単に「ダイヤルアップネットワーク」を選択しただけだったり、チェックボックスを2回クリックしたりした場合は、チェックボックスにはチェックマークは付きません。必ず「ダイヤルアップネットワーク」チェックボックスにチェックが付いていることを確認してください。



WindowsMe/98のマスタディスクが必要になる場合があります。

各種設定を問い合わせることができますので、情報を入力してください。

- 6 「ファイルのコピー」ダイアログが開き、ダイヤルアップネットワークのインストールが開始されます。
- 7 終了すると、「システム設定が変更されました」というメッセージが表示されます。[ OK ] ボタンをクリックしてください。
- 8 「新しい設定を有効にするためにはコンピュータを再起動する必要があります。再起動しますか？」というメッセージが表示されます。再起動してかまわなければ [ はい ] ボタンをクリックしてください。



## ダイヤルアップネットワークを登録する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

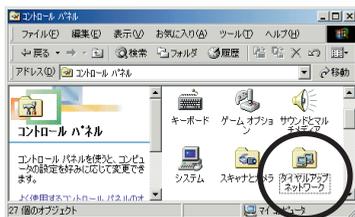
インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従ってダイヤルアップネットワークを設定してください。

### プロバイダの登録

- 1 WindowsMeの場合は「マイコンピュータ」 - 「コントロールパネル」 - 「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。  
Windows98の場合は「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」をダブルクリックしてください。



（画面はWindowsMeの場合です。）

- 2 「ダイヤルアップネットワーク」のダイアログが開きます。「新しい接続」をダブルクリックしてください。

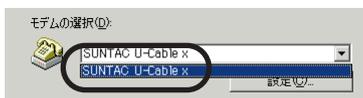


- 3 「新しい接続」画面が開きます。「接続名」入力欄に接続先の名称を入力してください。

接続名は、契約プロバイダ名などの判りやすいものが良いでしょう。



- 4 「モデムの選択」のプルダウンメニューから「SUNTAC U-Cable x」をクリックして、[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 5 接続先の電話番号設定画面に切り替わります。



- 6 「市外局番」は空白にしておいてください。



7 アクセスポイントの電話番号を入力します。

電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「-（ハイフン）」を入れず入力してください。

Packet通信で接続する場合：9999

ASYNC通信で接続する場合：XXXXXXXXXXXX  
(接続先の電話番号)

8 「国番号」のプルダウンメニューから「日本(81)」を選択してください。

9 [次へ] ボタンをクリックしてください。「新しいダイヤルアップネットワーク接続が次の名前で作成されました」というメッセージが表示されます。



10 [完了] ボタンをクリックしてください。登録が完了すると「ダイヤルアップネットワーク」のフォルダに登録した接続先名が加わります。

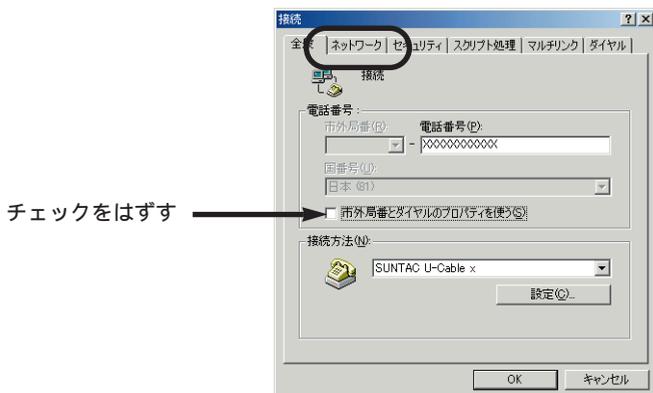
## プロバイダの設定

登録したダイヤルアップネットワークがインターネット接続できるように設定をおこないます。

- 1 新しく登録した接続先のアイコン上でマウスを右クリックしてください。
- 2 メニューが表示されます。メニューから「プロパティ」を選択してください。



- 3 接続先の情報設定画面が開きます。「国番号と市外局番を使う」のチェックを外し、「サーバーの種類」タブまたは「ネットワーク」タブをクリックしてください。



(画面はWindowsMeの場合です。)

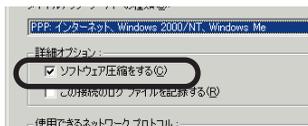
- 4 「サーバーの種類」または「ネットワーク」の設定画面が表示されます。



- 5 「サーバーの種類」プルダウンメニューの中から WindowsMeでお使いの場合は「PPP:インターネット、Windows2000/NT、WindowsMe」を、Windows98でお使いの場合は「PPP:インターネット、WindowsNT Server、Windows98」を選択してください。



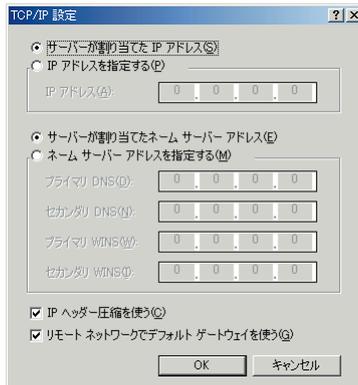
- 6 「詳細オプション」の中から「ソフトウェア圧縮をする」だけにチェックを付けてください。



- 7 「使用できるネットワークプロトコル」の中から「TCP/IP」だけにチェックを付けてください。



- 8 [ TCP/IP設定 ] ボタンをクリックしてください。  
「TCP/IP設定」画面が表示されます。



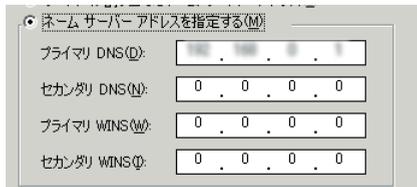
- 9 IPアドレスは、「サーバーが割り当てたIPアドレス」にチェックを付けてください。

サーバーが割り当てた IP アドレス(S)

- 10 名前サーバアドレスは、「名前サーバアドレスを指定する」にチェックを付けてください。

名前サーバアドレスを指定する(M)

- 11 「プライマリDNS」入力欄にプロバイダから通知された名前サーバ（DNS）のIPアドレスを入力してください。



- 12 [ OK ] ボタンを順番にクリックして、「ダイヤルアップネットワーク」のプログラムグループに戻ってください。  
ここで登録した接続のアイコンができています。

以上で、ダイヤルアップネットワークのインストールは完了です。

## Packet通信のための設定について

Packet通信の場合データ量に応じて課金される通信料金体系となっています。TCP/IPの設定で「WINSの解決をする」に設定されていると、定期的にデータの送信が発生し気づかぬうちに課金が発生しますのでご注意ください。

以下に定期的にデータの送信が行われないようにする設定方法を記載しておりますので手順に従い設定を行ってください。ただしLAN接続する場合はLAN管理者に確認してください。

- 1 「マイコンピュータ」－「コントロールパネル」－「ネットワーク」をダブルクリックします。



ネットワークの設定タブから「TCP/IP」を選択しプロパティのボタンをクリックします。

- 2 「WINS設定」のタブを選択します。



LAN接続しないの場合は、「WINSの解決をしない」に設定してください。

これで定期的にデータの送信が行われなくなります。LAN接続する場合はLAN管理者に確認してください。

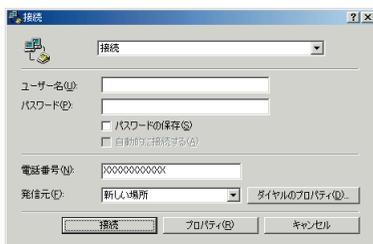
- 1 電話機のデータ通信設定を確認し、接続しようとするデータ通信モードになっていることを確認します。

電話機のデータ通信モードの詳細な設定方法に関してはお使いの電話機の取扱説明書を参照し、正しく設定してください。

- 2 先程の設定で作成したアイコン（接続など）をダブルクリックしてください。



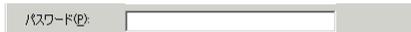
- 3 接続先のダイアログボックスが表示されます。



- 4 「ユーザー名」に接続先のプロバイダの接続アカウント（ログイン名）を入力してください。



「パスワード」に接続先のプロバイダのパスワードを入力してください。



ただしPacket通信の場合、通常のデータ通信で設定が異なります。詳しくはプロバイダに直接お問い合わせください。

- 5 [ 接続 ] ボタンをクリックしてください。接続が開始されます。
- 6 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



以上で、インターネットへの接続は完了しました。WWWブラウザやメールソフトなどのインターネットアプリケーションソフトが使用可能になります。



ダイヤルアップネットワークで接続をおこなう前に直接インターネットアプリケーションソフトを起動した場合、ダイヤルアップネットワークが自動的に起動してダイヤルをおこない、インターネットに接続した後でインターネットアプリケーションソフトが立ち上がります。



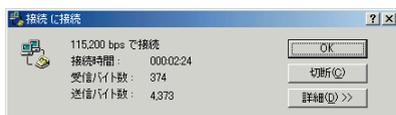
通信速度の表示はパソコンと機器間の速度が表示されています。ただしUSB接続の場合はパソコンと機器間の速度は仮想の速度表示となります。144kbpsパケット通信を行った場合にも115.2kbpsでの接続と表示されますが、実際の通信速度は144kbpsの通信が可能な設計となっています。

## 切断

回線を切断する場合は、タスクバーのアイコンをダブルクリックします。



表示された画面の [ 切断 ] ボタンをクリックしてください。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

# Windows2000でインターネットに接続する

## インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申込契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

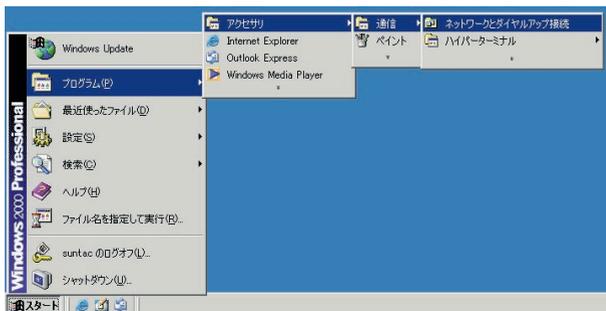
インターネットに接続する設定をおこなうためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名）
- 5 パスワード

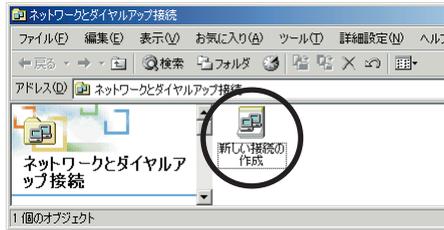
プロバイダに契約して、接続アカウント、パスワード等を取得したら、ご使用の環境に応じて、以下の手順に従って設定を行ってください。

### ダイヤルアップ接続の作成

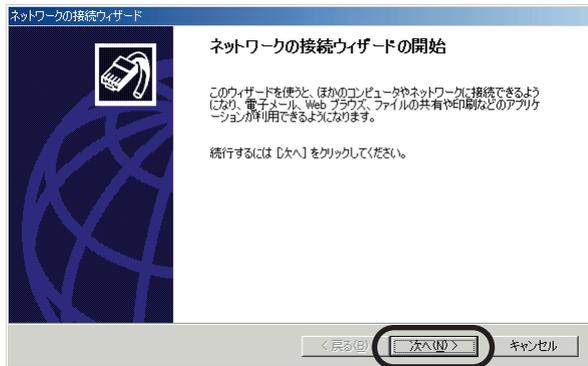
- 1 「スタート」 - 「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「通信」 - 「ネットワークとダイヤルアップ接続」と選択してください。



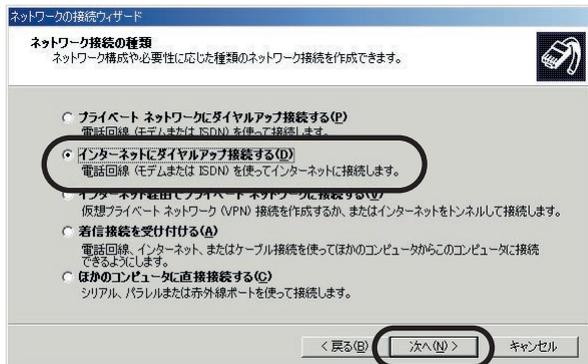
2 「新しい接続の作成」をダブルクリックしてください。



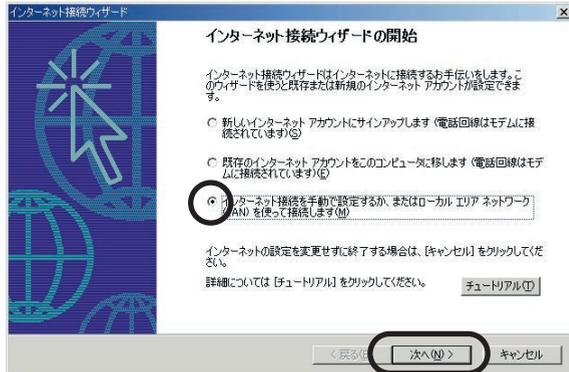
3 「ネットワークの接続ウィザード」が開始されます。  
[次へ] ボタンをクリックしてください。



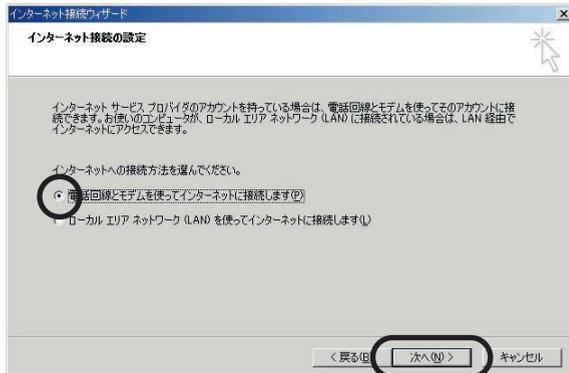
4 「インターネットにダイヤルアップする」をチェックして、[次へ] ボタンをクリックしてください。



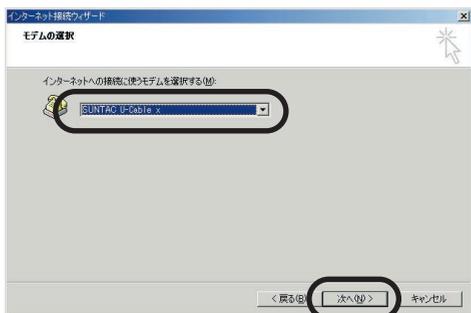
- 5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」にチェックの上、[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」にチェックの上、[次へ] ボタンをクリックしてください。



- 7 モデムの選択で「SUNTAC U-Cable x」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



- 8 アクセスポイントの電話番号を入力します。  
電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「- (ハイフン)」を入れずに続けて入力してください。  
Packet通信で接続する場合：9999  
ASYNC通信で接続する場合：XXXXXXXXXXXX  
(接続先の電話番号)

チェックをはずす



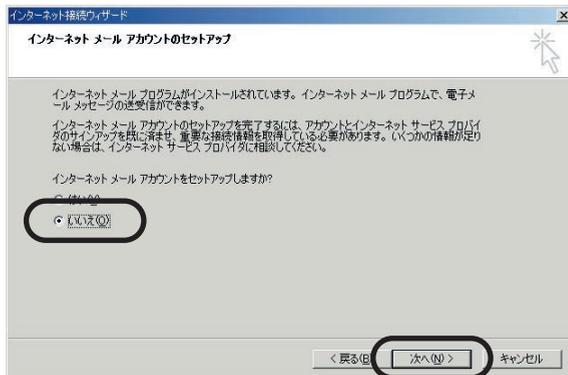
cdma One電話機の場合、市外局番から設定した方が望ましいため「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックをはずして、電話番号の欄に市外局番から入力してください。

- 9 ユーザー名、パスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックしてください。

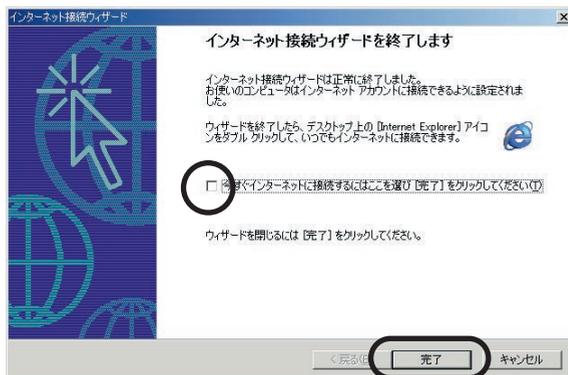
ただしPacket通信の場合、通常のリモート通信と設定が異なります。詳しくはプロバイダに直接お問い合わせください。

- 10 接続名を記入して、[次へ] ボタンをクリックしてください。接続名は契約プロバイダ名など判りやすいものが良いです。

- 11 「メールアカウント」を設定する必要がある場合、上記画面で[はい] ボタンをクリックした上で、[次へ] ボタンをクリックして、メールアカウントの設定を行ってください。本例では、メールアカウントの設定は省略します。



- 12 「今すぐ・・・」のチェックをはずした上で、[完了] ボタンをクリックして、ウィザードを終了します。



以上でダイヤルアップ接続の作成は完了です。

## 接続方法

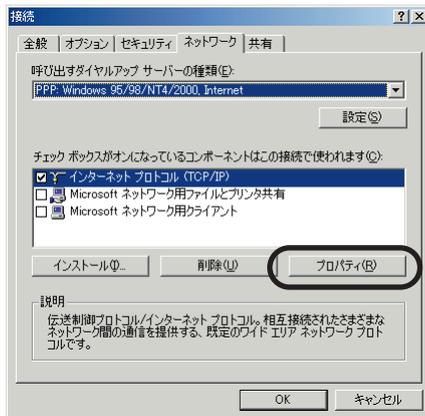
- 1 電話機のデータ通信設定を確認し、接続しようとするデータ通信モードになっていることを確認します。  
電話機のデータ通信モードの詳細な設定方法に関してはお使いの電話機の取扱説明書を参照し、正しく設定してください。
- 2 ダイヤルアップ接続の作成で作成したアイコンをクリックし、「ファイル」 - 「プロパティ」をクリックして、プロパティを表示します。



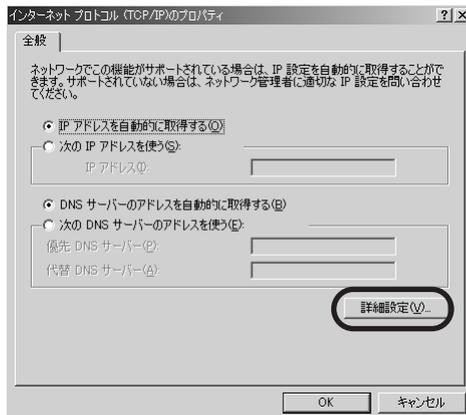
- 3 プロパティの中で、お使いのプロバイダ、もしくはネットワーク環境にあった設定をしてください。設定が完了したら、[ OK ] ボタンをクリックしてプロパティを閉じてください。（一度設定すれば、次回からは設定の必要はありません。）

設定内容については、プロバイダ、ネットワーク管理者などに確認してください。

「インターネットプロトコル (TCP/IP)」にチェックが付いていることを確認しプロパティをクリックします。



- 4 「詳細設定 (V)」をクリックします。



- 5 「WINS」タブをクリックします。



- 6 この画面で「WINSアドレス (使用順)(W)」が設定されていないことを確認し、「OK」をクリックします。

WINSアドレスが設定されている場合は、削除してください。



- 7 「OK」をクリックして「ネットワークとダイヤルアップ接続」のダイアログにもどります。

- 8 プロパティの設定が完了したら、接続先のアイコンをダブルクリックして接続画面を表示してください。[ダイヤル] ボタンをクリックすると、接続が開始されます。



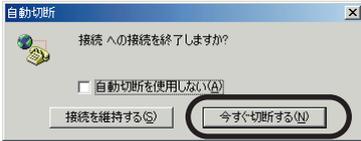
- 9 接続が完了するとタスクバーにアイコンが表示されます。



通信速度の表示はパソコンと機器間の速度が表示されています。ただしUSB接続の場合はパソコンと機器間の速度は仮想の速度表示となります。144kbpsパケット通信を行った場合にも115.2kbpsでの接続と表示されますが、実際の通信速度は144kbpsの通信が可能な設計となっています。

## 切断

ブラウザを閉じた時「自動切断」のダイアログが表示された場合は [今すぐ切断する] ボタンをクリックしてください。



タスクバーのアイコンをダブルクリックして接続の状態を表示して [切断] ボタンをクリックして切断することもできます。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

# Macintoshでインターネットに接続する

## 注意

Mac OS 9.0でご使用になる場合にはMac OSをMac OS 9.0.4以上にバージョンアップしてからお使いください。

### インターネットに接続する

インターネットに接続するためには、インターネットへの接続の入り口となるアクセスポイントが必要です。通常は、アクセスポイントを提供するネットワークプロバイダ（以下、プロバイダ）に対して、電話回線からダイヤルして接続します。

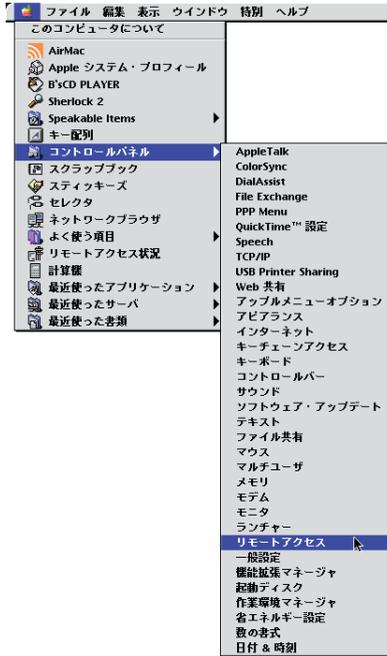
このため、アクセスポイントを提供するプロバイダに対して加入申し込み契約をおこない、接続アカウント（ID）、パスワード等を取得する必要があります。

インターネットに接続するためには、接続されるプロバイダに応じて、以下の設定項目を確認しておいてください。

- 1 ネームサーバー（DNS）のIPアドレス。  
（「.」で4つに区切られた、それぞれが3桁以内の数字。例：xxx.xxx.xxx.xxx）
- 2 ドメイン名
- 3 接続アクセスポイントの電話番号
- 4 接続アカウント（ログイン名。ここでは「名前」とも表現されています。）
- 5 パスワード

## TCP/IPの設定

- 1 「アップルメニュー」の「コントロールパネル」の「リモートアクセス」を選択し、起動します。



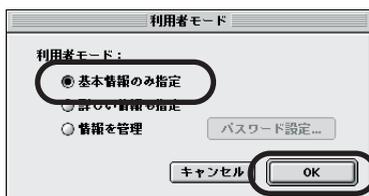
- 2 「リモートアクセス」メニューの「TCP/IP」を選択します。



- 3 「TCP/IP」が起動したら、「編集」メニューから「利用者モード」を選択します。

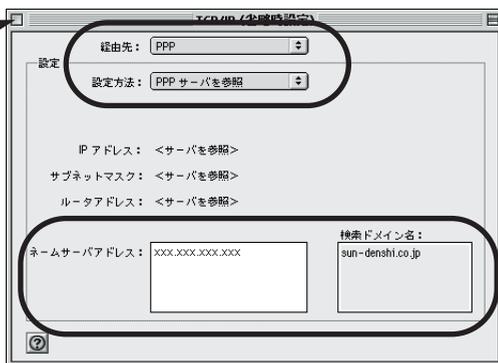


- 4 「基本情報のみ指定」を選択して[OK]ボタンをクリックします。「利用者モード」が閉じます。

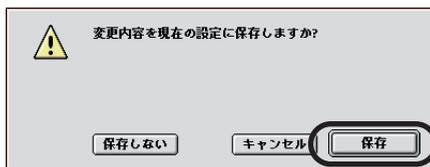


- 5 続いて、「TCP/IP」の設定をします。  
 「経路先」メニューから「PPP」を選択し、「設定方法」メニューから「PPPサーバを参照」を選択します。  
 「ネームサーバアドレス」、「検索ドメイン名」を入力します。

閉じるには  
 ここをクリック。



- 6 上図の矢印の箇所をクリックすると、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」という下記の画面が開きますので[保存]ボタンをクリックします。「TCP/IP」が閉じます。



## モデムの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「TCP/IP」の設定と同様に「リモートアクセス」メニューの「モデム」を選択します。  
「モデム」の設定は、必ず本製品だけをUSBポートに接続した状態で行うようにしてください。



U-CableをUSBポートに接続していない状態で「モデム」を選択しても、「経由先」に本製品に該当する「U-Cable x」が表示されません。



- 2 「経由先」メニューから、本製品「U-Cable x」を選択し、「モデム」メニューから、「SUNTAC U-Cable A」を選択します。  
「ダイアル」は「トーン」を選択し、「ダイアルトーンを無視」のチェック欄のチェックを外してください。

閉じるには  
ここをクリック。



上図の矢印の箇所をクリックすると「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので [保存] ボタンをクリックします。「モデム」が閉じます。

## リモートアクセスの設定

- 1 「リモートアクセス」のダイアログ（画面）を選択した状態にし、「名前」、「パスワード」、「電話番号」を入力します。

**名前** : プロバイダに接続する際の、接続アカウント（ユーザーID やアクセスID）を入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。Packet通信を行う場合は通常の設定と異なります。詳しくはプロバイダに直接お問い合わせください。

**パスワード** : プロバイダに接続する際の、パスワードを入力します。すべて半角で、大文字・小文字などを間違えないように入力します。Packet通信を行う場合は通常の設定と異なります。詳しくはプロバイダに直接お問い合わせください。

**電話番号** : 接続先プロバイダの接続したいアクセスポイントの電話番号を入力します。電話番号はすべて半角英数字で、市外局番から「 - （ハイフン）」を入れずに続けて入力します。

Packet通信で接続する場合：9999

ASYN通信で接続する場合：XXXXXXXXXXXX  
(接続先の電話番号)





「パスワードを保存」のチェックボックスにチェックがしてある場合、一度設定が完了すれば次回からはパスワードを入力しなくても、プロバイダに接続することができるようになります。チェックをしない場合は、接続時に毎回パスワードを入力する必要がありますので、パスワードを知らない人があなたのアカウント名でこのコンピュータからプロバイダに接続することを防止できます。必要に応じてチェックをするか、しないかを決めましょう。

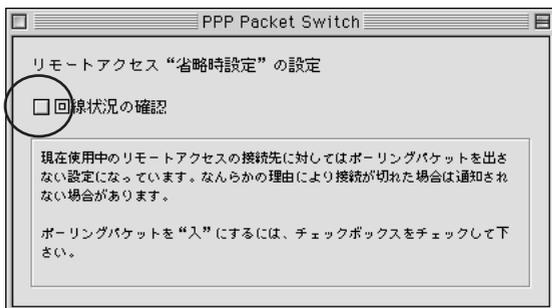
- 2 入力が完了したら、「リモートアクセス」をいったん閉じます。  
矢印の箇所をクリックすると（前頁参照）「変更内容を現在の設定に保存しますか？」という画面が開きますので [保存] ボタンをクリックします。「リモートアクセス」が閉じます。  
これで、プロバイダに接続するための設定は完了しました。

## PPP Packet Switchの設定

Packet通信の場合デ - タ量に応じて課金される通信料金体系となっています。通常の設定では定期的にデ - タの送信が発生し気づかぬうちに課金が発生しますのでご注意ください。

「PPP Packet Switch」を設定することにより定期的にデ - タの送信が行われないうにすることが可能です。

「PPP Packet Switch」をダブルクリックして立ち上げます。



[ 回線状況の確認 ] チェックボックスを外してください。

定期的にデ - タの送信が行われな設定になります。ただし、「PPP Packet Switch」の設定をする場合にはリモートアクセスのコントロールパネルは閉じた状態にしておく必要があります。

この設定は現在接続先として設定されているリモートアクセスの接続先に対してのみ有効となります。

複数の接続先を登録している場合は、それぞれの接続先に対して設定が可能です。

## 接続方法

- 1 電話機のデータ通信設定を確認し、接続しようとするデータ通信モードになっていることを確認します。  
電話機のデータ通信モードの詳細な設定方法に関してはお使いの電話機の取扱説明書を参照し、正しく設定してください。
- 2 先ほど設定した「リモートアクセス」を起動して、[ 接続 ] ボタンをクリックするとプロバイダに接続できます。



接続がうまくいかない場合は、「リモートアクセス」をいったん終了し、U-Cable をMacintoshのUSB ポートに差し直してください。再度「リモートアクセス」を起動し、[ 接続 ] ボタンをクリックしてください。  
上記の方法を試しても接続がうまくいかない場合は、Macintosh を再起動してください。



通信速度の表示はパソコンと機器間の速度が表示されています。ただしUSB接続の場合はパソコンと機器間の速度は仮想の速度表示となります。144kbpsパケット通信を行った場合にも115.2kbpsでの接続と表示されますが、実際の通信速度は144kbpsの通信が可能な設計となっています。

## 切断

回線切断は、[ 接続を切る ] ボタンをクリックします。  
通信が終了し、リモートアクセスは待機状態にもどります。



通信終了後は必ず電話機の接続も終了していることを確認してください。回線がつながったままの場合は、電話機の終話ボタンを押して回線を切ってください。

## 速度が非常に遅いと感じる場合

インターネットに接続してみて、速度が非常に遅く感じられる場合は、以下の設定をご確認ください。

- 1 「アップルメニュー」の「コントロールパネル」の「メモリ」をクリックします。
- 2 「メモリ」のダイアログ（画面）が開きます。「仮想メモリ」が「入」にチェックされている場合は、「切」にチェックをします。



- 3 チェックボタンの下などに、「再起動後に“切”になります。」等の説明が表示されます。

開いているアプリケーションをすべて終了し、Macintoshを再起動します。

閉じるには  
ここをクリック。



## トラブル対処法

通信できない、あるいは機器が正常に動作しないなどのトラブルが発生した場合、故障と考える前に、症状に応じて以下の点を確認してください。

### Windowsでインストールできない場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が表示されない場合はスタートボタン - コントロールパネル - システムと選択しデバイスマネージャータブをクリックします。

「その他のデバイス」の内に「U-Cable x」が表示されている場合は「U-Cable x」を選択して「削除」ボタンをクリックして一度削除します。その後「更新」ボタンをクリックすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。

「モデム」の内に「U-Cable x」が表示されている場合はすでにインストールは完了していますので本製品をご使用いただける状態になっています。インストール中「このデバイス用のドライバが見つかりませんでした。」と表示された場合は、検索場所の指定が正しく指定されているか確認してください。

### Macintoshでインストールできない場合

添付ソフトウェアCD-ROM内の、USBドライバとCCLファイルが、正しいフォルダにコピーされているか、マニュアル「準備編」の「Macintoshの設定」を参照し、確認してください。

### 通信ポートが開けない又はU-Cableを確認できない場合

機器とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。

機器を接続してドライバがインストールされているか確認してください。

通信ソフトでCOMポートの設定が合わせてあることを確認してください。

パソコンによっては、パソコンのサスペンド後または機器を接続するたびに機器が使用しているポート番号（COMの番号）が変わることがありますのでポート番号を確認し、違っている場合は正しく設定してください。

USB対応のサン電子製品（モデム、TA含む）を他に接続している場合は、正しく動作しないことがあります。それらの機器を外してお使いください。

### 通信時電話機がダイヤルしない又はダイヤルした後すぐ切断される場合

機器が電話機と正しく接続されていることを確認してください。接続されていない場合は、接続してください。

電話機のサービスエリア外や電波状態が悪いところでは、通信できない場合があります。電話機から通常に電話して、通信できることを確認してみてください。また、電話機の圏内表示がされていても、回線が混んでいてデータ通信ができない場合があります。この場合、しばらく待ってからもう一度かけ直してください。

技術基準の規定により、3分以内に同じ番号を再ダイヤルできるのは、2回

までに制限されています。3分以上してからもう一度かけなおしてください。電話番号が正しく入力されていることを確認してください。誤った番号を入力していた場合は、接続相手先の電話番号を確認し、もう一度かけなおしてください。

電話機のデータ通信モードが正しく設定されているか確認してください。

## データ通信時、相手につながるとすぐ切れてしまう

通信条件の設定が通信相手と合っていない場合があります。通信方式の種類・電話番号・ID番号・パスワード・DNSのIPアドレスなどを確認してください。

ダイヤルアップ接続の場合は、サーバーの設定・TCP/IPの設定も確認してください。設定の内容は、利用されているプロバイダにご確認ください。電波状態が悪いため、通信できない場合があります。電話機から通常に電話して、通話できることを確認してみてください。

## 高速Packet通信だけができない

高速Packet通信を行うにはauグループと別途契約が必要です。

## カシオ製電話機で発信できない

カシオ製の電話機はダイヤルオプション（電話番号の末尾につけるモード設定のオプション）に対応していません。電話機でデータ通信モードの設定を行い、接続先の電話番号にはダイヤルオプションをつけないで発信してください。

## 通信時115.2kbpsで接続される

通信速度の表示はパソコンと機器の間の速度が表示されています。ただしUSB接続の場合はパソコンと機器の間の速度は仮想の速度表示となります。144kbpsパケット通信を行った場合にも115.2kbpsでの接続と表示されますが、実際の通信速度は144kbpsの通信が可能な設計となっています。

## インターネットに接続できない場合

接続プロバイダのDNSのIPアドレス設定が正しいか確認してください。

接続先のアクセスポイントの電話番号が正しいか確認してください。

市外局番からダイヤルしていない場合は、市外局番からダイヤルしてください。（Windowsの場合、市外局番の入力欄は空欄とし、「国番号と市外局番を使う」や「ダイヤル情報を使う」などにチェックがしてある場合、チェックを外してください。）

正しいユーザー名、パスワードを入力していることを確認してください。

電話機のデータ通信モードが正しく設定されているか確認してください。

---

## 通信が安定しない

電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。電話機の電界強度のバー表示が安定して2本以上表示されていることを確認してください。

電界強度のバー表示が安定して表示されていない場合は、しばらくしてからかけ直してください。

接続ケーブルがはずれかけている可能性があります。接続を確認した上で、通信ソフトを再起動してください。

# リファレンス

## ATコマンドの入力方法

ATで始まります。

パソコンからATで始まる文字列が送られると、自動的に通信速度とデータフォーマットを判別します。ATに続いてコマンドとパラメータを入力し、最後に□キーを押す（CRコードを送る）と、コマンドが実行されます。

例 ATZ□（ソフトウェアリセットを実行します。）

ATに続けてコマンドとパラメータを合計50文字まで入力できます。

ATと□キー入力の間に、複数のコマンドを連続して入力できます。コマンドとパラメータは最大50文字（CRは含まない、LFは省略可）まで入力できます。

例 ATZV0□

Zはソフトウェアリセット、V0はリザルトコードを数字に設定を意味します。

## ATコマンド設定一覧表

コマンドの後のnはパラメータを示します。

太字で表記されているパラメータは出荷時設定値を示します。

前に 印の付いているコマンドは、AT&Wコマンドで設定値を不揮発メモリに保存可能です。

コマンド	機能	パラメータ	内容
A/	直前のコマンドを再実行 入力後に[Enter]キーは不要	-	
AT	端末速度、データフォーマットを認識する	-	
ATDxx	発信動作を行う	0~9, #,*	電話番号 (ダイヤルオプション) #05 : 高速(144/64kbps) Packet通信 #04 : 標準(14.4kbps) Packet通信 #02 : ASYNC通信  ダイヤルオプションをつけない 場合は電話機の通信モードに 従います。

コマンド	機能	パラメータ	内容
ATEn	コマンドエコーの設定	0 1	コマンドエコーなし <b>コマンドエコーあり</b>
ATHn	回線接続の制御	0	モデム - オンフック
ATIn	ROMバージョンの表示	3 5	メーカー名 ROMバージョン
ATOn	通信状態へ移行する (エスケープモード~ の動作を設定します)	0, 1	エスケープモードからオンライン モードへ移行する
ATQn	リザルトコードの設定	0 1	<b>リザルトコードあり</b> リザルトコードなし
ATVn	リザルトコードの表示形式 を設定	0 1	数字形式 <b>単語形式</b>
ATW	不揮発性メモリロード	-	不揮発性メモリをロード
ATXn	通信速度の表示、 BUSY/ダイヤルトン検出の設定	0 1 2 3 4	通信速度表示なし、 BUSY/ダイヤルトン検出なし <b>通信速度表示あり、 BUSY/ダイヤルトン検出なし</b> 通信速度表示あり、ダイヤルトン検出あり 通信速度表示あり、BUSY検出あり 通信速度表示あり BUSY/ダイヤルトン検出あり
ATZ	初期化 (データ通信中は回線断)	-	不揮発性メモリに設定
&Cn	CD信号の制御	0 1	CD信号常時ON <b>CD信号は相手モデムのキャリア に従う</b>
&Dn	ER信号の制御	0 1 2 3	ER常時ONとして動作する 通信中にER オン オフの場合、 エスケープモード <b>通信中にER オン オフで回線切断</b> 2と同じ+回線切断後、初期化
&F	現在の設定を工場出荷時の 設定に初期化する	-	(短縮ダイヤルは消去しない)

コマンド	機能	パラメータ	内容
&W	現在の設定内容を不揮発性メモリに保存する	-	現在の設定内容を不揮発性メモリに保存する
&Z	不揮発性メモリの初期化	-	不揮発性メモリの内容を初期化する
¥Qn	DTEポートフロー制御	0 1 3	なし Xon / Xoffフロー制御 RS / CSフロー制御
+++AT	エスケープモードに移行		回線を接続したままコマンド入力可能になります。 ATOコマンドで復帰します。

## リザルトコード一覧表

数字形式	単語形式	意味
0	OK	コマンドが正常に実行された
1	CONNECT	接続完了
2	RING	着信が検出された
3	NO CARRIER	回線切断
4	ERROR	コマンドエラー
5	CONNECT 1200	1200bps接続
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンが検出できなかった
7	BUSY	話中音が検出された
10	CONNECT 2400	2400bps接続
11	CONNECT 4800	4800bps接続
12	CONNECT 9600	9600bps接続
16	CONNECT 19200	19200bps接続
17	CONNECT 38400	38400bps接続
18	CONNECT 57600	57600bps接続
19	CONNECT 115200	115200bps接続
24	DELAYED	リダイヤルエラー